

夏休みにしかできない、夏休みだからできる体験・経験を

1学期終業式を迎えました。未だコロナに左右される学校生活ですが、昨年度の経験と保護者や地域の方のお力添えにより、徐々に日常を取り戻しています。

いよいよ明日から夏休みです。一昨年までと同じ42日間のお休みです。健康に留意し、自分の命は自分で守りながら楽しい毎日を過ごしてほしいものです。さらには、体験・経験によって子どもたちの心・体・頭は大きく成長しますので、夏休みにしかできないこと、夏休みだからできることを体験・経験してくれるといいなあと思います。そこで、終業式では以下のようなことを子どもたちに話しました。

(前略) 明日からの42日間の夏休みに、守ってほしいことを4つ話します。

①「**早寝 早起き 朝ごはん**」

規則正しい生活をするると、頭は賢くなり、体も心も元気になります。元気なときは、コロナや熱中症をはじめ病気に罹りにくくなります。また、いろいろなことにチャレンジしようという気持ちが高まります。きっと楽しい夏休みになります。テレビやコンピュータの見過ぎ、ゲームのやり過ぎに注意です。

②「**自分の命は自分で守る**」

交通事故に遭った小学生の原因第1位は「飛び出し」です。特に自転車で、一旦停止をせず飛び出して自動車にぶつかる人が多いそうです。交差点で曲がりきれず、壁や街路樹などにぶつかっていく人もいます。自分の目で周りをよく見て、自分の頭で判断し、適切に行動し、自分の命は自分で守りましょう。

③「**コロナ対策**」

三密を防ぐ、検温、手洗いや手指消毒、マスクの着用など、今やっていることを続けましょう。そして、自分と家族や友達などの大切な人を守りましょう。

④「**夏休みにしかできない、夏休みだからできることをする**」

今年の夏もどこかへ行くことは難しいようですね。家のお手伝いでもいいです。毎日散歩するでもいいです。ずっと続けられることを自分で決め、やってみましょう。特別なことではなくても、続けること自体が貴重な経験になります。(後略)

9月1日の始業式で、心も体も頭も一回り大きくなった子どもたちと再会することを楽しみにしています。夏休み期間も引き続き、皆様の見守りをお願いいたします。

半田市立岩滑小学校長 藤堂正喜